



# 『ほっ』 穂だより 第5号



## 謹賀新年

「安」「幸」

昨年、2015年の一字に「安」が選ばれましたが、安らかで穏やかな1年であったというよりは、真の安全・安心について深く考えさせられた年であったような気がします。一方当老健に関わる皆さんの昨年の一字は何だったのでしょうか？それが「幸」という文字であってくれたならいいなと考えるところです。

しかし幸せって一体何なのでしょう？超高額年俸の野球選手の家庭生活が必ずしも幸せでない様子を垣間見ると、又空腹に苛まれていた我が貧乏学生生活時代に、隣の敷地から伸びだしてきた柿を取って食べた際のあの幸福感を思い出すと、幸せとはたとえお金が無くても誰でもどこでもいつでも享受出来る類のものであることに思いが至ります。

ただし幸せを享受するためには、少なくとも以下のような条件あるいは準備が必要なのではないでしょうか。①現状を許容する寛容さと節度、②一定の努力。いみじくも回診中に入所中のある方からこんな話をいただきました。「私はこの木漏れ日だけで十分幸せ・・・」と。

今年、2016年も当老健は単なる介護施設に留まることなく、家族や地域の皆さんにも多くの幸せをお届けできるような、「幸」の発信基地でありたいと考えています。引き続きご指導のほどお願い申し上げます。

理事長 山田博愛

ユニットリーダーとして

リーダー研修を終えて1年・・・可動の難しさを感じながら、無我夢中で毎日を過ごしています。今回改めて、ユニットリーダーとして今日まで振り返ってみました。

つぶやき①今日も入居者様の笑顔があり、何事もなく楽しく過ごせました。感謝です。

つぶやき②帰宅願望があり、落ち着かない入居者様には気分転換と一緒に歩いている時、空想の世界に招待して頂きました。楽しい時間をありがとうございます。

つぶやき③入所当時は、会話も少なくお部屋で過ごされていた入居者様が、時間が経つに連れ同席の入居者様と互いに励ましの会話へと変わり、今では会話も多く声を出されて笑っています。そんな姿をみて、癒されています。

時代の流れと共に施設での暮らしが、介護から生活支援へと変わってきました。私たちは、入居者様を受け入れて、安全で楽しい生活を送っていただけるように心を込めて支援することで、入居者様との繋がりをより強くしていきたいと思ひます。

入居者様の人権と尊厳のもとに職員一同さらに専門性を高め、生活支援の向上に努めたいと思ひます。今後ともご協力、ご指導よろしくお願ひいたします。

グリーンユニットリーダー 井口 淳子

# 2015年 穂のキセキ

2015年は多くのレクリエーション行事がありました。  
その中で多くの利用者様に喜ばれた行事を紹介します。

## 流しそうめん



いくつになっても食べるのが大好きな  
ことはいい事ですね。  
本格的に竹を使用しての流しそうめん！



みなさんわれ先にと立ち上がって  
そうめんを奪取！  
満足するまで召し上がりました。

平成道の駅にあるこぶしで 15時のおやつを食べました。  
ぜんざいやアイスクリームを選びました！  
みなさん笑顔が絶えず、いい気分転換になりました。

おやつ後は、お店でお買い物を  
しました。  
そこでなんと！  
平成道の駅・駅長ペッパーくんが  
いました。  
記念に一緒に写真を一枚♪



## 外出レク 平成道の駅へ

今回は昨年の2大イベントを取り上げてみました。約1年ぶりの発行となりました。第5号、  
穂だよりいかがでしたでしょうか？

第5号では掲載できませんでしたが、夏祭り・運動会などの様子・ボランティア活動にてお越しくくださった  
方々の様子、利用者様の作品を使った展示など、穂のホームページではこの他の行事・作品集についても掲載  
しておりますのでよろしければそちらもご覧ください。(ホームページは老健 穂で検索ください。)

次回号の穂だよりまで皆様楽しみにお待ちください！！ 広報委員会 長尾 こず恵 長谷部 裕香